



名取武一議員

塚平の三菱用地 へのメガソーラー 建設は

9月中に事業者より 回答がある見込み

質問…三菱マテリアル所有の土地にメガソーラー建設の話があるが、土地は既に売却しているのか。

町長…売買契約はされたと聞いたが、所有権の移転は不明。

質問…地元住民の同意権をどう考えているか。

また、住民説明会は。

町長…環境問題・災害対策・20年間の運転の担保、それと住民懇談会、この二つのハードルを経なければだめだと伝えているが。

ある。9月中に事業者より回答がある見込み。

質問…この機会に甲州街道を復活することはできないかとの声があるが。

町長…どういう方法があるか調べてみる。

質問…メガソーラー建設は、どこかで歯止めをかけるべきではないか。

町長…景観を大切にするとという意味からも、無制限にやることは食い止めた。

■温泉を福祉施設と 位置づけできないか

質問…茅野市、北杜市は市内の温泉施設に財政支援をし、地元利用者に優遇措置を設けている。町内の温泉施設に適用することはできないか。

町長…町内の温泉施設は法人格を持っており、福祉施設ではないので、支援は難しい。

質問…茅野市も北杜市も民間の経営に支援をしているが。

町長…このような話は、その経営者が経営戦略を持ってすべきで、町にそのような話は来っていない。

■風疹ワクチン接種の 補助を

質問…今年は風疹患者数が急激に増え、8月21日現在で昨年1年間の5倍以上になっている。妊娠初期に風疹に罹患すると、赤ちゃんが障がいを持つて生まれてくるケースがある。県内でもワクチン接種の補助を進めている町村があるので、町も補助を実施すべきでは。

町長…諏訪圏内では、4月からの発症事例は1例のみ。8月12日から18日の間に県内、近隣県での発症事例はない。国が妊娠を望む夫婦を対象に抗体検査を全額補助するという情報もあり、この結論を待ちたい。

□その他の質問

*町長選挙の結果について



小池勇議員

TPP参加後 町農業をどう守 るか

迅速・強力に他所 には負けない覚悟 で望む

質問…TPP参加が避けられない状況となっている。町農業に甚大な影響があると思うが、町長の認識は。

町長…現時点で影響を断定することはできないが、議員の心配と農業を思う気持ちは、感激を持って受け止める。

質問…参加後には、米、酪農を中心に影響が考えられ、これまで力を入れてきた有害鳥獣対策、耕作放棄地対策等も無意味なものになる。2期目

の目玉と考えている「特定地域再生計画」も、修正を余儀なくされるのでは。

町長…農地を含めた自然風景は町の貴重な財産で、「計画」には不可欠だが、交渉結果が出るまでは対策の取りようがない。当面はこれまでの計画を着実に進める。

質問…TPP参加により日本農業全体が大打撃を受けることは必至だが、対策如何で地域差が出る。すべてを守ることとは不可能だ。町の将来構想実現を第一に考え、最低限守らなければならぬラインと、優先順位を決めておく必要がある。仮称「富士見町農業防衛計画」を直ちに策定すべきではないか。

町長…現時点での取り組みは困難だ。結論が出た時点でプロジェクトチームを立ち上げ、しっかり対策を講じる。

質問…メンバー構成を

どのように考えているか。

町長…確約はできないが、役場、農協、農業委員会、農業に真剣に取り組んでおられる農家の皆さん、その他有識者等を考えている。

質問…TPPは決まっています。例えば、地域間競争の面が強い。一種の戦争と考える。他地域に負けないためには、迅速な対応と、豊富な資金量が物を言う。26年度予算を、非常時における緊縮予算とし、「農業防衛基金」を設置、資金をストックする考えはないか。

町長…今は時期ではない。時期が来れば、迅速かつ強力に、他所には負けない覚悟で臨む。

質問…予算は有効に活用すべきだ。

町長…TPPに関わらず重要。考え方、先端技術導入等、変化受け入れが必須条件となる。